

「ふくい創生・人口減少対策戦略」素案（概要）

第1章 はじめに

1 策定の背景

- 本県では平成22年12月に、福井県民の将来ビジョン『「希望ふくい」の創造』を策定し、人口減少問題を重要課題の一つとして位置づけている。
- 昨年11月、「まち・ひと・しごと創生法」により、各自治体において、地方版の戦略を定めるよう努力義務が課された。
- こうした背景のもと、人口減少が地域経済の縮小をもたらし、それがまた人口減少を加速させる負のスパイラルを止めるため、本戦略を策定する。

2 戦略の位置付け

- 福井県民の将来ビジョンで示す方向に基づき、まち・ひと・しごと創生に係る具体的な施策と目標を掲げた「実施計画」に位置付けるものである。
- 戦略の内容については、各年度の実施結果を踏まえ、点検・評価を行いながら不断の見直しを進めることとし、必要に応じて改定していく。

3 計画期間

平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年度）の5年間

第2章 基本的な政策の方向性

結婚・出産・子育てに関する県民の希望を実現し、自然減に歯止めをかけるとともに、若者の県内定着やU・Iターンの促進などにより社会減を改善し、活力ある地域社会を実現するため、以下のとおり方向性と基本戦略を設定する

- **ふくいの良いものを最大活用「ふるさと力」の結集**
本県の良いもの、強みを最大活用するとともに、実行に当たり県や市町、県民、産業界、大学などオールふくいで「ふるさと力」を結集し、主体的に活動する。
- **人口減に歯止めをかける「徹底戦略」と人口減の中で最適化を図る「適応戦略」**
結婚や子育て支援などの自然減対策、U・Iターンなどの社会減対策を徹底的に実施するとともに、高齢者の割合が最も中くなる30年後に向け、社会の構造を変革し、経済や暮らしの質を維持する。
- **国と地方の役割分担**
東京への過度な人口・企業の集中に対し、国の役割として是正を求める。

第3章 基本戦略

1 県民の希望がかなう結婚・出産

- 結婚の良さの理解を促進し、社会全体で結婚をサポートするとともに、子育ての負担を軽減し、安心して子どもを持てるようにする。
- (1) つながりの力で徹底応援「縁結び」
 - (2) 「住むなら福井」日本一の子育て環境

2 U・Iターンを強力に推進

- 地方への移住希望者に対する徹底した相談・応援を実施するとともに、県内の若者に対して地元進学・就職の優位性を示し、県内定着者を増やす。
- (1) 選ばれるふるさとへのU・Iターン徹底サポート
 - (2) 仕事も住まいもすべて安心、福井暮らしの応援
 - (3) 大学も高校も県内定着を強力バックアップ
 - (4) 東京への流れを反転、企業と産業人材の誘致

3 ローカル産業、グローバル観光革命

- 県内中小企業の技術革新や女性・高齢者の就業を推進するとともに、国内外からの交流人口を拡大し、地域経済を活性化する。
- (1) 人口減少を乗り越えるローカル産業革命
 - (2) ふるさとの産業、商店等の維持・発展
 - (3) 世界から人を呼び込み、交流人口を拡大

4 持続可能で、元気なまちの形成

- 県民が住み慣れた地域で元気に暮らしていくために、地域の力を結集し、ふるさとの暮らしを守り、地域の賑わいを創出する。
- (1) 賑わいや交流で、ふるさとの元気復活
 - (2) 若者が楽しみ、支えるまちづくり
 - (3) アクティブ・シニアの活躍する社会

5 幸福な暮らしの維持・発展

- 上記基本戦略1～4により、幸福な暮らしの維持・発展を図るとともに「住む人」「来る人」が、幸福を実感できるような幸福の見える化を進め、楽しく豊かな人生を送ることができる日本一のふるさとを実現する。
- (1) 「幸福度日本一」の見える化

第4章 施策展開（主なもの）

基本戦略	数値目標	具体的な施策（主なもの）	
1 県民の希望がかなう結婚・出産	検討中	<p>(1) つながりの力で徹底応援「縁結び」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★出会いの場を増やす新たなマッチングシステム ★公共・民間施設等におけるカップル割引 <ul style="list-style-type: none"> ○「迷惑ありがた縁結び活動」の職域、住職等への拡大 ○県民参加型の結婚ポジティブキャンペーンの開催 	<p>(2) 「住むなら福井」日本一の子育て環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ★「子育てマイスター」の活動充実 ★共働きを支援する新たな保育サービス <ul style="list-style-type: none"> ○第3子の保育料等の無料化を6歳児にまで拡充 ○育児等による離職者を再雇用する企業に奨励金支給
2 U・ターンを強力に推進	検討中	<p>(1) 選ばれるふるさとへ、Uターン徹底サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ★子育てサポートコミュニティによる移住・定住支援 ★県内就職を促す新たな奨学金制度の創設 ★小中学生、保護者へのふるさとの良さの理解普及 <ul style="list-style-type: none"> ○福井Uターンセンターによるきめ細かい情報発信・収集 ○県内企業における国際業務など若者に人気の働き方を情報発信 <p>(2) 仕事・住まいすべて安心、福井暮らし応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ★社宅や寮など住まいの確保を応援 ★都市のアクティブ・シニアなどの誘致 <ul style="list-style-type: none"> ○園芸、伝統工芸に加え、林業、漁業、観光の研修コースを新設 ○Uターン者に対し、空き家の取得、リフォーム費用を支援 	<p>(3) 大学も高校も県内定着を強力バックアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ★県内大学による学生確保と定着促進支援 ★県外の高校生の県内高校への入学支援 ★都市圏の大学との連携による短期留学制度 <ul style="list-style-type: none"> ○県内就職支援等の拠点として大学連携センターを設置 ○県内就職・進学を進める私立高校を支援 <p>(4) 東京より福井へ、企業と産業人材の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ★県外高卒者等の県内就職を促進 ★大企業の福井支店の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ○若者や女性に魅力のある本社機能の誘致を強化 ○県内企業が必要とする産業人材を大都市から誘致
3 ローカル産業・グローバル観光革命	検討中	<p>(1) 人口減少を乗り越えるローカル産業革命</p> <ul style="list-style-type: none"> ★県内企業のUターン雇用促進 ★省力化技術(ロボット等)による生産性向上のイノベーション推進 <ul style="list-style-type: none"> ○県内外の大学、大手企業と連携し、企業の研究開発を支援 ○シニア人材を活用して企業が求める人材を確保 ○女性の活躍を支援する企業を応援 ○女性の創業を応援 	<p>(2) ふるさとの産業、商店等の維持・発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ★伝統工芸産地の連携による産地の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ○地域のシンボリック店舗改修等を支援 ○オーベルジュなど里山里海湖ビジネス支援 <p>(3) 世界から人を呼び込み、交流人口を拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ★観光地の磨き上げとネットワーク化による誘客促進 ★外国人専門職人材の誘致
4 持続可能で、元気なまちの形成	検討中	<p>(1) 賑わいや交流で、ふるさとの元気復活</p> <ul style="list-style-type: none"> ★市町の「創生戦略」実行を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○空き店舗などを活用し、地域のにぎわい拠点を整備 	<p>(2) 若者が楽しみ、支えるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者が地域に入り、祭りなどの伝統行事を活性化する活動を応援 <p>(3) アクティブ・シニアの活躍する社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シニア人材を活用して企業が求める人材を確保（シニア人材活躍支援センターの設置）
5 幸福なくらしの維持・発展	検討中	<p>(1) 「幸福度日本一」の見える化 ※上記 基本戦略1～4により、幸福なくらしの維持・発展を図るとともに、「幸福度日本一」の見える化を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ★幸福と希望の研究・活動拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○「人生トータル設計書」で都市と福井の生涯の暮らしの違いをPR 	

「★」:今後事業化を検討していく施策 「○」:既に事業化している施策

※各施策について、重要業績評価指標(KPI)を設定する